

県議会公報

18年1月

日本共産党 岡山県議会議員団

岡山市北区内山下2-4-6 岡山県議会内
TEL 086(226)7412
FAX 086(231)2187

森脇ひさき
氏平みほ子
すます伸子

11月議会

十一月議会は提案された議案三十七件
および発議三件を可決しました。日本共
産党県議団は、氏平みほ子、森脇ひさき両
県議が一般質問に立ち、すます伸子県議
が討論しました。

学び直しへ夜間中学を

氏平県議が質問



夜間中学は、日本で暮らす外国人
や、様々な事情で義務教育を受ける
ことができなかった人々、不登校の生
徒も含め、学び直しができる場です。
文部科学省は、教育機会均等法にもとづき各県に少なく
とも一校は設置するよう求めています。

県議団は、岡山市内で自主夜間中学を運営する代表者
と懇談。そこでは、「世代や国籍の異なる生徒が集うこと
による夜間中学の温かさや学びに向かう雰囲気に触れ、生
徒たちは自信を取り戻し、学ぶ意欲を向上させている」こ
となどが紹介されました。

氏平県議は、これらの声も紹介しながら、夜間中学の必
要性を訴え、岡山県でも設置するよう求めました。

果山破壊のメガソーラー規制を

森脇県議が質問



県下各地で大規模な森林伐採を
おこなってメガソーラー（巨大な太陽
光発電施設）を建設する事態がお
こっています。

森林には、災害や水害対策、水源涵養（かんよう）、環境
保全など大切な役割があります。これを壊すと、近隣住
民や下流の河川にも、深刻な影響を及ぼす危険が高まり
ます。「本来、太陽光発電など自然エネルギーは『自然にや
さしい』はずなのに、大規模に自然を破壊して建設するこ
うなのは『適切・賢明な判断』と言えるのか」、森脇県議はこ
の点を知事にたどしました。

知事は、「防災・安全対策をはじめ、地域の自然環境や景
観などに十分配慮しながら進める必要がある」と答弁。そ

子ども食堂への支援を

教育長は、「夜間中学の設置も視野に入れながら、
個々のニーズに応じた実質的な学び直しの場を提供で
きるよう、とりくみたい」と答弁しました。

氏平県議は、赤磐市にある「子どもの家」の活動を紹
介。事業を存続するために、民家を借り上げた際に家賃
を補助する制度をつくるよう求めました。

知事は、「民家借り上げ費用の補助は考えていない」と
しましたが、「食事の提供や学習支援を行う子どもの居
場所作りが広く取り組まれるよう、研修会等を通じて、
その意義や運営方法等の普及に努める」とのべました。

教育関係の請願 不採択に



国の教育予算の増額、給付制奨
学金制度の創設、35人学級の実
現などを求め、17,577人分の署
名を添えた請願は、自民党と公明
党によって「不採択」にされてしま
いました。

のうえで、「住環境や自然環境に深刻な影響を及ぼす
可能性がある事業計画に対しては、国のガイドラインや
関係法令等に基づき、地域住民の生活や環境が脅かさ
れることのないよう適切に対応」と述べました。

「ヒバクシャ国際署名」に賛同を

昨年、国連で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃
絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞
しました。森脇県議は、広島・長崎の被爆者の方々によ
びかける「国際署名」に、知事の賛同を求めました。

知事は、「核兵器を廃絶して世界の恒久平和をめざ
すものであり、人類共通の願いに他ならない」とのべるに
とどまりました。

12月23日現在、岡山県内すべての市町村長、全国
20の知事が署名しています。